

令和5年度 第3回 浜松市立伊目小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年10月11日(水) 13時25分から15時15分まで
- 2 開催場所 伊目小学校 会議室
- 3 出席委員 白柳和義、影山純市、山田正典、太田かおり  
名倉紀幸、野澤昌広、松浦真人、久保直人
- 4 欠席委員 加茂俊武、浜田改一
- 5 学 校 井村由紀子(校長)、伊藤省吾(教頭)、野末敏宏(教務)  
間淵由利子(CSディレクター)
- 6 傍聴者 なし
- 7 オブザーバー 河上康美(みのり会副会長)
- 8 協議事項  
(1) 学校評価及び授業参観  
(2) 11/4 生き生き学校について(ウォークラリー)  
(3) 伊目大運動会の反省について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 間淵 由利子
- 10 会議記録

司会の伊藤教頭から、委員10名中9名の出席があり会議が成立している旨の報告があった。

(1) 協議会に先立ち15分間授業参観を行った。

(2) 議長の選出および前回議事録確認

伊藤教頭から、議長の選出について太田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

前回議事録について、手元資料を参照・伊藤教頭より口頭で説明があり全員これを確認し、承認をした。

(3) 熟議

学校評価及び授業参観について

- ・英語の授業(ALT)がとても楽しそうであった。(白柳会長)
- ・どの学年も元気があったよかった。先生方の黒板の使い方がとてもよかったし、なにより字がとてもきれいでさすがだな、と感心した。授業内容として家族や命をテーマにしたものがあって素晴らしいと思った。(久保委員)
- ・子供たちの意見に対して、先生はまずじっくり聞いてから進めていく、というやり方をしていた。よいすすめ方だと思う。
- ・毎回感じるが、子供たちが素直でよい。(太田委員)
- ・1年生が少なかったが、担任の先生がうまく授業を進めている姿を見てさすがだと思った。(松浦委員)
- ・学校評価のあいさつの項目は今回も評価が低いので今後の課題だと思う。あいさつについて、面識があまりない大人からの声掛けは初めは警戒するものだと思うので、だんだんと慣れてもらうためにも大人も根気強く声掛けすることが大切なのかな、と思う。

英語の授業（ALT）はもし可能であれば親子で授業を受ける機会を作ってもらいたいと思う。

- ・英語の授業（ALT）は大変そうだけど楽しそうだった。先生が子供を指名して意見をしたら次の指名を子供にさせる、というやり方をしている学年があったが、そんなやり方もありだと思った。（山田委員）
- ・絵画や書写の廊下掲示がよかった（影山委員）

#### 11/4 生き生き学校(ウォークラリー)について

手元資料を参考に野澤委員より説明があり、来月開催される生き生き学校の大まかな内容について全員異議なく承認した。

#### 伊目大運動会の反省について

野末教諭よりアンケート集計結果の説明があり、全体的に肯定的な意見が多かったとの報告があった。委員からは以下の意見があがった。

- ・玉入れ競技について、地区によって(特に南部)は人数が集まらない可能性がある。今後継続して行うのは難しくなるかもしれない。やり方を少し考えなければならないと思う。（影山委員）
- ・半日開催というのはいいと思う。（山田委員）
- ・昔の運動会のスタイル（1日運動会でお昼は家族で弁当を囲むスタイル）が懐かしいし思い入れも違うが時代の流れでやれないのが少し寂しい。（松浦委員）

#### 1.1 その他報告事項等

野末教諭よりボランティアのお願いと報告があった。

教頭より次回学校運営協議会は2月10日(土)伊目っ子チャレンジ発表会当日に開催する旨の連絡があった。

伊目っ子チャレンジ発表会については従来の学習発表会のスタイルではなく、1年間の学習の成果を発表する場として開催する、と校長より説明があった。